第36巻20号2014年1月1日発行（毎月1日発行）

ONE BOOK ONE LIFE 2015 1月号

掲示板

専門音訳講習会デイジー編集コースを開講

毎日新聞大阪社会事業団との共催で標記講習会・基礎編と応用編を下記のとおり開講します。

【基礎編】デイジー編集の基礎知識と演習。日時＝３月５日(木)・６日(金)２日連続、10時～17時。対象＝これからデイジー編集を始める方。申込締切＝２月３日(火)

【応用編】耳で聴いて分かる録音図書を作るための編集を学ぶ(ＰＣ編集の実践講習ではありません)。日時＝３月12日(木)か13日(金)のいずれか１日、10時～16時。対象＝デイジー編集を行っている方。申込締切＝２月17日(火)。

参加費共に1,000円。受講申込は録音製作係(電話06-6441-1017)へ要項をご請求の上どうぞ。

「楽にネット」でバリアフリーなお買い物を

インターネットで手軽にショッピングできる時代になりましたが、視覚障害の方々にとっては音声で読み上げない、商品情報が多すぎるなど、まだ使いやすいものではありません。そこで、NPO法人アクティブリハビリ・ネット・アクセシビリティ改善プロジェクトチームが昨年夏から「楽にネット」というサイトを開設し、視覚障害利用者の意見を聴きながら改良を続けています。特徴は、商品を簡単に比較検討でき、１クリックで数量指定、買い物カゴに入れられること。皆さんもアマゾンでお買い物の際には、「検索　楽にネット」をぜひ一度お試しください。

近畿点字研究会設立40周年記念講演会を開催

当日は、同会の疋田泰男顧問が「日本点字委員会誕生の背景と近畿点字研究会の発足」について講演。国立特別支援教育総合研究所の大内進先生が「3次元を触ることと2次元を触ること―立体教材及び触図活用の意義と配慮」と題し、点字教科書における図のあり方や、有名絵画の半立体模型等について講演します。

日時　１月24日(土)13時～16時20分

会場　玉水記念館 ３階中ホール

参加費 会員外、資料代300円

申込み(問い合せ)　近畿点字研究会事務局

Email: kintenkennews@lighthouse.or.jp

(電話06-6784-4414) 窪田・福井まで。

締切　１月15日(木)

新年の開館・休館予定を最終ページに掲載

未年の本年、穏やかに、群れをなして、強い力の発揮を
各係の担当者からボランティアの皆さまへ年頭のご挨拶

新年おめでとうございます。旧年中にボランティアや支援者の皆さまから頂戴したご支援とご協力に心から感謝申し上げるとともに、本年も変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。年頭にあたり、各係の担当者から皆さまへのご挨拶をお届けします。（館長　竹下　亘）

「読みたい！」と言われる点字図書作りを

「この本を点字で読みたい！」と思った時、その本がすぐに読める。さらに関連した本も読める。そんな読書環境を目指していきたいと思っています。さまざまな製作依頼が舞い込むかもしれません。その際は、ぜひ皆さんと職員の力を結集し、読者に求められる点字図書を製作していきましょう。（点字製作係主任　奥野真里）

録音製作係とＭＳＣの連携強化を目指して

いつも質の高い録音図書を多数作っていただき、ありがとうございます。録音製作係とメディア製作センター（ＭＳＣ）では、今後さらに連携を強化して、蔵書の製作数増と製作期間の短縮を目指しています。沢山の仕事をお願いして恐縮ですが、今年もご協力のほど、お願いいたします。（録音製作係主任　岡本 昇・後藤恵里奈、メディア製作センター主任　岡村佳子）

図書貸出と対面リーディングは車の両輪

昨年、ビルの内装がリニューアルしたアルテ分館。図書の貸出は分館、対面リーディングは本館でと、サービス提供の場所は分かれていますが、心を一つにして、新たな気持ちで利用者の皆様へより良い図書情報サービスをお届けしたいと思います。本年も変わらぬご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。
（図書・情報係主任　谷口由紀）

さらに充実したパソコンサポート活動を

パソコンサポート「ボイスネット」の皆さんには、昨年は訪問サポートをはじめ、ＳＶＰ実験や日本ライトハウス展でのご協力などさまざまなご支援を賜り、誠にありがとうございました。本年はさらに充実したボランティア活動を送っていただけるように取り組んでいきたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。（サービス部ボイスネット担当　松本一寛）

電子書籍の多々利用、盛大活用を願って

新年慶賀　活発活動　盛大助力　感謝礼賛。
本年製作　多々利用　盛大活用　多々幸福。
例年活躍　益々活躍　皆様健康　何卒祈願。
新年挨拶　言葉多数　字数制限　何卒容赦。
大器晩成　満身創痍　筋骨隆々　強仕不惑。
（製作部電子書籍担当“晴耕雨読　中道主義”長本　幹）　※編者注＝厳しい字数制限を強いたため、担当者が苦肉の策で捻り出したご挨拶ですので、どうかご笑覧ください。

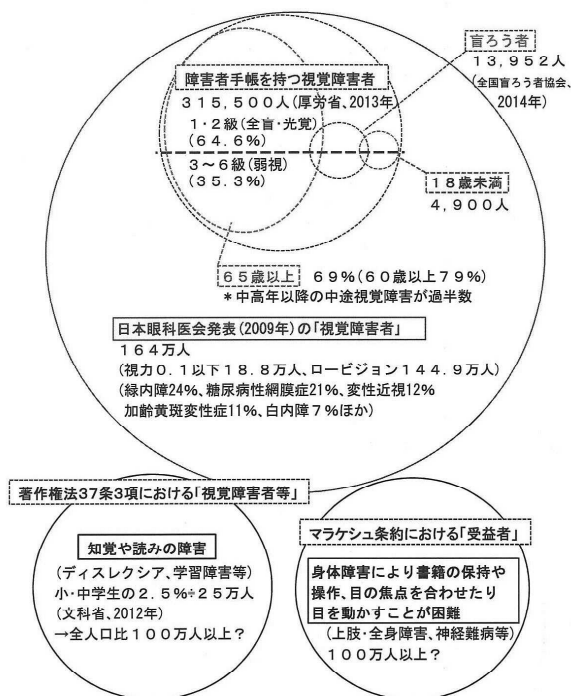
皆さんの声に耳を傾け、より良い活動へ

ボランティア友の会世話人会では、見学先を下見に行くなど、とても熱心かつ丁寧な取り組みに頭が下がります。皆さんの生の声に耳を傾け、より良いボランティア活動を目指して、ご一緒に利用者サービスの向上につなげていきたいと思います。この他、毎月の広報誌の発送のほか、イベントのお手伝いや視覚障害者のガイド、臨時の大量の発送など、たくさんの皆さまのお力の大きさを感じています。今年は未年にちなんで、穏やかに、群れをなして強い力を発揮していきましょう。（総務部主幹　林田　茂）

音声解説で生きる喜びをプラスするために

映画は生きるのに絶対必要とまでは言えませんが、誰かの生きる力になることもあります。「ボイスぷらす」の活動は、作品に音声解説をプラスするだけでなく、この世界にまた一つ喜びをプラスするものだと思います。日頃の皆さんの温かいお力添えに心からの感謝を！（製作部音声解説担当　工藤ゆう）

読書に困難のあるすべての人と情報共有を

ボランティアの皆さんが日夜製作してくださっている点字・録音・電子図書は今後、下図のように、障害者手帳を持つ視覚障害者（盲ろう者を含む）だけでなく、ロービジョンをはじめ目の病気や高齢化等で読書に困難のある人、「知覚や読みの障害者」（ディスレクシアや学習障害等）、さらには「身体障害により書籍の保持や操作、目の焦点を合わせたり、目を動かすことが困難な人」（上肢・全身障害、神経難病等）に拡がっていきます。そしてぜひとも拡げていかなければなりません。これは、目下、文化庁が批准の準備を進めている国際条約「マラケシュ条約」が掲げる目標であり、決して絵空事ではありません。読書に困難のあるすべての人と情報共有できる社会を目指して、今年もさらにお力添えをお願いします。（館長　竹下　亘）

ボランティア友の会施設見学会
日本ライトハウスの２施設を訪問して

今年度のボランティア施設見学会は当法人４施設の内、大阪市鶴見区の視覚障害リハビリテーションセンター（リハセン）と東大阪市の点字情報技術センター（テクティ）でした。リハセンでは生活・職業訓練室等を見学、利用者とスポーツ体験を通して交流しました。テクティでは、点字図書（特に図）製作の専門的技術に見入り、点訳・製版・印刷から製本までの出版工程や触地図の資料などを見学して、興味が尽きませんでした。　（点字製作係ボランティア　山本 普実雄）

11月25日（火）、今年度のボランティア友の会施設見学会は、大学在学中に失明し、関西学院に学んでいた岩橋武夫氏が、1922年（大正11年）、点字図書の製作を開始したことに始まった、日本ライトハウスの視覚障害リハビリテーションセンターと点字情報技術センターの２施設に行きました。参加人数30人（ボランティア28人、職員２人）。歩くにはやや遠いので、タクシー相乗りで、今津公園東側に位置するリハセンに向かいました（あっという間に到着）。

視覚障害リハビリテーションセンター

日本で初めて体系的に実施した歩行訓練、点字・カナタイプ等の訓練、身辺処理や調理等のいわゆる「社会適応訓練」を柱に利用者のニーズに合わせたプログラムを提供しています。内山副所長より、今、100人ぐらいの方が通所で利用、20数名が入所等の説明がありました。館内見学はＰＣ、電話交換手等の訓練室、タオルをたたんだりビスやナットを仕分けたりする作業場もあり、真剣に取り組んでいました。報酬の分配は成果主義ではなく、時間で支払われるとのこと。何かホッとした気持ちにもなりました。その額は月平均4000円位だそうです。移動中、廊下から階段踊り場への境目に「暖簾」をぶら下げているのに気付き尋ねると、「場所の変化」と

「落下防止」のためとの事、感心しました。また、ストレス解消のためスポーツも取り入れ、私たちも目を閉じて参加し、一緒に楽しみました。

点字情報技術センター

リハセンから第二寝屋川を挟んで徒歩約20分、センターへ到着。疋田（ひきだ）職員から、「当センターはプロフェッショナルならではの点字製作を目指し、全員が職員。点字製作が主となり、点字教科書、触る図形、英和・仏和辞典や単行本等の製作発行を手がけています（全部有料）」等の説明があり、館内見学。さすがに皆さん「プロ」！点字原版の間に紙を挟み込む作業の女性の手際よさ。うっとり見とれて尋ねると、「20年」。さすがです……。１階では見事な図形を原版に描いています。また見とれていると、「やってみますか？」「もちろん！」。やってみると、点を打ち込む時、凹点と凹点の間隔が均等に揃う仕掛けはわかりましたが、綺麗な円、直線にはなりません。その他、製本等、素晴らしい技術の方たちでした。教科書をはじめ見本の製作が増え、相談ばかりで依頼が少ないとお聴きし、複雑な気持ちになりました。

色々な障害を持った方がおられますが、何らかの形で、少しだけでもお役に立てれば良いなと、改めて思った１日でした。

この「感謝報告」欄は、当センターの事業にご協力いただいた方々のお名前と内容を感謝を込めてご紹介するものです。本号では2014年11月分を掲載いたします。大勢の皆様のお名前と幅広い活動内容を限られた誌面に収めるため、見にくい編集や掲載順の一部変更、敬称の省略等をどうかお許しください。

♣ 点 字 製 作 ♣

11月分完成点字図書

17タイトル39冊(書名、編著者、冊数、点訳者、校正者)

ＪＲニュース2014年12月号(交通新聞社) 3冊
点・校:金曜日グループ
医務服を着た郵便局長３代記(埼玉新聞社) 2冊 点:冨田京子
校:河村牧子 木村寿子
校:野崎智惠子
上野千鶴子の選憲論(上野千鶴子) 3冊 点:黒堀比佐子 校:G校正
校:八木光子
音の積み木２(松井洋平) 1冊
点:橋本和代 校:田中伸子
音の積み木３(松井洋平) 1冊
点:橋本和代 校:田中伸子
折にふれて６(尾山とし) 1冊
点:待田敏彦 校:古谷豊子
若林安也子
君たちはなぜ、怒らないのか(大島武) 3冊 点:西山和子
校:G校正 校:岡田允子
小学４年生の世界平和(ジョン・ハンター) 5冊 点:井上重子
校:G校正 校:岡田允子
白いガーベラ(漆原智良) 1冊
点:林 さゆり 校:G校正
校:大蔵継子
真実の「わだつみ」(加古陽治) 2冊 点:浦田登志子
校:宗像真李子 雪岡加奈子
校:岡田允子
Best Orange Muffins 1冊
点:待田敏彦
まほろばの王たち(仁木英之) 4冊 点:華崎律子 校:G校正
校:都解節子
「3つの体液」を流せば健康になる!(片平悦子) 2冊 点:安井良恵
校:G校正 校:丸山順介
メニュー一覧(携帯電話取扱説明書より抜粋) 1冊
点:鴻上真理 校:浜田史子
もう一人の奇跡の人(広瀬信雄) 4冊 点:加尾美千子
校:中村三枝子
もうひとつの初恋(原三枝子) 1冊 点:中野龍子 校:大蔵継子
校:八木光子
列石の暗号下(サム・クリスター) 4冊 点:村田晶子 校:G校正
校:橋詰玲子

第２校正完了図書

(２校者名のみを掲載)
がんとＤＮＡのひみつ 浜田史子
寝盗られ宗介 橋詰玲子

♠ 録 音 製 作 ♠

11月分完成録音図書

13タイトル(書名、著者、録音時間音訳者、校正者、編集者)

「うつ」と平常の境目(吉竹弘行) 5:11 音:浜本裕子
校:吉川順子 西川淑子
編:荒木良子
うろつき同心勘久郎鬼刀始末１(関根聖) 5:42 音:前田綾子
校:伊志峰和代 石原英子
浅野雅子 編:森 和子
希望の力(フジコ・ヘミング) 1:09 音:鈴木恵子
校:北川温子 岡 香代子
編:土井賀津子
子どもはなぜ勉強しなくちゃいけないの?(荒俣宏) 4:15
音:橋本順子 校:松井喜美代
浜本裕子 土井賀津子
編:坂口幸子
世界を操る巨大組織(巨大組織研究会) 6:12
音:岡 香代子 校:谷澤耀子
松本紀代 坂口幸子 編:鳥生次郎
「治る」ことをあきらめる「死に方上手」のすすめ(中村仁一) 5:28 音:谷口伊都子
校:宮 清子 柳本絹子
松井喜美代 編:古跡眞知子
肺と呼吸に不安があるときに読む本(寺本信嗣) 5:50
音:坪田捷子 校:上月直子
井駒多津子 編:濵 欣子
曳舟の道(浜岡三太郎) 10:02
音:山口和葉 校:岩谷友子
久保洋子 森 和子
編:鳥山正彦
秘密保護法は何をねらうか(清水雅彦) 5:53 音:山口孝代
校:山中眞理子 大林 緑
木村純子 編:岡 香代子
負の世界遺産 4:46
音:川端真知子 校:桂 公子
久保洋子 荒木良子
編:酒居よし枝
防鴨河使異聞(西野喬) 10:52
音:米谷治子 校:植田美穂子
山見順子 編:鳥山正彦
僕たちは戦後史を知らない(佐藤健志) 9:59 音:小林幸子
校:福池恵理子 寺下千秋
本村英子 編:岡 香代子
墓地散歩(石井秀一) 14:39
音:新庄和代 首藤和恵
澤田和代 平田佳子 寺下千秋
辻野玲子 鈴木恵子 吉田典子
板東由美子 吉川順子
校:金糸雀 夛田禮子 福島博子
山見順子 編:濵名あきよ

♥ プライベート製作 ♥

デイジー図書

ICレコーダー品番ICR-S003M
取扱説明書(一部のみ) 1:24
音:佐山敦子　校:三上 菊
稲盛和夫経営問答集第3巻
(稲盛和夫) 6:09
音・編:松田照子
ＮＨＫ将棋講座６月号(NO.407)
(日本放送協会) 9:19
音:外園朝代
男の条件(永松茂久) 4:28
音:松本公丹子
必ず役立つお墓の常識68
(須藤貞夫) 4:26
音・編:坪田捷子
倭国から日本へ(宮川克己)
19:41　音・編:坪田捷子

テキスト化

権利擁護が支援を変える
テキスト化：直江君晏
臨床というもの
テキスト化：吉田典子
業務資料
テキスト化:木原富子
佐藤久子　千徳節子　新田 優

♦ 定 期 刊 行 物 ♦

『英語よもやま通信』
デイジー版 2014年12月号 2:50
音・校・編:英語チーム
伊東晴子　奥田美穂　小林幸子
志水節子　辻本紀枝　中島 睦
西田芳美 西和田恵子 松浦洋子
山下厚子

『近畿視情協新刊案内』録音版
2014年10月号　デイジー版 2:08
カセット全2巻
音・校:郡 薫　倉富重雄

『子供の科学』
デイジー版 2014年10月号 4:37
音・校・編:グループ汐(ゆうしお)
井駒多津子 岸田素子 夛田禮子
澤田美那子 田中英子 土井明美
南浦京子　吉川弘美

『サイエンスかわら版』
デイジー版　2014年10月号 3:54
音・校・編:理数チーム 竹田佳代
井駒多津子 濵 欣子 本田睦子
河原眞知子 夛田禮子 目連雅子

『週刊新潮』デイジー版
2014年10月23日号 9:26
荒川尚子　植田純子　大島幸枝
大塚しづ子　奥 幸子　小倉玲子
越智佳子 上村裕子 加茂みくり
川添美智子　姜 貞眞　木村 晶
阪本美紀　佐藤公平　佐藤圭子
澤田玲子　島 美緒　嶋林茂子
関田通子　武市敦子　建部節子
津川淳子 中農晃子 中元友杋子
西岡千代子 橋村惠子 橋本順子
羽淵雅子　浜 洋一　松井喜美代
真見奈津子　密山一二三
八十嶋敦子　渡辺周子
編集　中本和代

2014年10月30日号 9:33
岩谷友子 大塚しづ子 越智佳子
河合佐和子　川添美智子
姜 貞眞　北川由美子　岸野裕子
木村英子　久下悦子　小西君子
坂田嘉子　阪本美紀　佐藤公平
佐藤圭子　澤井 稔　澤田玲子
関田通子　武市敦子　竹田光子
建部節子　田中葉子　玉置明美
津川淳子　坪田捷子　中農晃子
中村京子 密山一二三 橋村惠子
吉永英子　浜 洋一　前田元子
和田啓子　渡辺周子
編集　町田美樹子

2014年11月6日号 10:08
大山 猛　岡村勝彦　加藤紀美子
柏木和子 上田啓子 河原眞知子
斉藤良子 正田潤子 中村千賀子
中村直美　中本和代　西田文子
野村美穂子 畑中法子 深津綾子
兵頭つね子 福井和子 福田佳代
編集　中本和代

2014年11月13日号 9:49
井尻府三重 植田純子 加藤和夫
上原多美子 上村裕子 佐藤公平
阪本美紀 阪本由美子 澤田玲子
嶋林茂子　鈴木恵子　関田通子
武市敦子　田中葉子　津川淳子
中農晃子　永井憲子　林 由子
橋村惠子 増田典子 山本スズ子
山本晴代　編集　井駒多津子

2014年11月20日号 9:43
有末 道　池田和子　上野輝子
太田貴子 大山節子 越智真弓子
片岡佐知子　北川由美子
北川富美代 岸野裕子 佐藤公平
北村優美子 髙久俊子 寺西竹子
詫摩多美子 当房公子 中村洋子
西村道子 西本美加子 橋本明子
西山トシ子　橋本嘉代子
松浦洋子　松原和子　三原富枝
柳内登喜子　山下 豊　大和澄子
山田栄利子　編集　町田美樹子

新潮音訳協力グループ:
グループN-BUN、音訳サークル「あい」、八幡市民図書館朗読ボランティアサークルよむよむ、デイジー大阪、奈良県視覚障害者福祉センター「草笛会」

『読書』2014年12月号
デイジー版 1:08
音:本田睦子　校:濵 欣子
墨字版発送:小北眞澄　関岡裕子
坂本尚子　舞田文子　利根珠美
隅田よし子

『お役立ち目録 2014年12月号 ～鉄道の楽しみ～』
デイジー版 0:09
音:本田睦子　校:濵 欣子

『日経パソコン』
デイジー版 2014年11月号 4:30
音・校・編:情報文化センター
石井那智子 片岡珠子 金井典子
川端真知子 桂 公子 北川温子
木村純子 小林幸子 佐山敦子
佐々木マス子 阪本由美子
坂口幸子 夛田禮子 竹田佳代
津川淳子 寺田美枝子 西田芳美
二宮真理 橋本万里 浜本裕子
福島博子 三上 菊 村田 光
目連雅子 山見順子

『ONE BOOK ONE LIFE』
2014年12月号発送
西垣泰子 藤原静江 松永壮兒
山田一弘

全視情協サピエ事務局封入作業
2014年11月
西垣泰子 藤原静江 松永壮兒
山田一弘 並木昌子 宮崎ナオヨ
井川倭文子 板谷照美
松本美津子

全視情協から全国の「サピエ」利用者約13,000人に送る大量のダイレクトメールの発送作業を繰り返し、長時間にわたりご協力いただき、まことにありがとうございました。

✯ マルチメディア ✯ DAISY

～一ツ橋綜合財団助成事業～
マルチメディアデイジー図書をはじめとする当館の電子書籍は、公益財団法人一ツ橋綜合財団のご助成により製作されています。

◆テキストDAISY図書
MONTHLY “日本一”明るい経済新聞11月号
ﾃｷｽﾄ化・DAISY編集:森 美恵子

✎ 音 声 解 説 ✍

◆ボイスぷらす
天地明察
解説ナレーション：藤井倫子
台本：那須由美子 羽田直美 藤井倫子
編集:那須由美子

日本ライトハウス・バリアフリー映画会「天地明察」(11/29)
準備・当日ご協力
尾崎一恵 大桑久美子 阪口雅代
鹿津直美 加藤由美子 中村京子
羽田直美 川添美智子 平山隆子
北川富美代 松原 博 土井賀津子
那須由美子 廣野美代子
平林育子 藤井倫子
古澤満寿枝

ガイドCD同期
釣りバカ日誌９ 那須由美子
釣りバカ日誌11 松原 博

◆キネマ・アンサンブル
音声解説CD(貸出用)とシネマ・デイジーの製作・提供
００７カジノ・ロワイヤル
二十四の瞳(ｼﾈﾏ･ﾃﾞｲｼﾞｰのみ)

❦ 館内お手伝い ❦

整理・情報サービス
井川倭文子 板谷照美 板波キミ
鱗星千恵子 逸見恵子 日下清香
松本美津子

情報システム
森田敏子

図書・情報サービス
足立宣美 飯村康志 岩井正雄
板波キミ 板谷照美 植田美津子
太田貴子 片岡忠克 木畑紀子
帰村千恵 小寺高子 清水美枝子
木村謹治 当房公子 武部はつ子
野間絹子 廣川公栄 逸見恵子
宮嶋昌代 松原和子 森本益子
渡邊洋子 若槻敬子
［茨木市バラの会］小椋美智子
菅野淑子 堂 晴美 森島真由美

◆ 11月の貸出実績
点字 213冊 ＦＤ 0枚
デイジー3975枚 テープ 64巻

★11月の人気貸出図書★
(当館製作図書。順不同。)
【点字図書】
親子で楽しむアウトドア
深海生物学への招待(長沼毅)
身近な雑草のふしぎ(森昭彦)
今のピアノでショパンは弾けない(高木裕)
【デイジー図書】
上岡龍太郎話芸一代(戸田学)
季語の足音(榎本好宏)
60歳からの「シンプルな家事」私の方法(阿部絢子)
結晶とはなにか(平山令明)

録音製作
小林弘子 並木昌子 堀マサ子
宮崎ナオヨ
［製作数］
新刊 54タイトル(CD 426枚)
雑誌 8タイトル(1185枚)
(『英語よもやま通信』『近畿視情協新刊案内』『子供の科学』『サイエンスかわら版』『読書』『お役立ち目録』『週刊新潮』『日経パソコン』)

岩井和彦さんの夢を受け継ぐ会に300人

12月16日、堺市で開かれた標記集まりに、当法人の職員・ボランティアをはじめ全国各地から300人余りが参加。生涯の各時期に深く交わった10数人が思い出を語り、その人柄を偲ぶとともに、岩井さんの夢や理想を受け継いでいくことを誓いました。

【感謝報告 続き】

❣ 対面リーディング ❣

足立雅子　荒河裕子　伊東晴子　犬塚敬彦
井上惠子　上ノ山禎子　後 恵子　内山扶美代
江口不二子　大島幸子　岡崎宏美　置塩啓子
小笠原みゆき　荻野珠紀　奥井秀子　桂 公子
片岡佐知子　加納蕙子　神谷考子　菊池雅子
岸田素子　蔵田ゆみ子　黒部妙子　古賀和子
小杉洋子　澤井 稔　柴田智美　渋谷登与子
島 美緒　嶋林茂子　神保克子　田井京子
髙久俊子　高橋節子　田那辺優子　谷崎節子
田伏惠子　寺内久美子　寺西竹子　乕松益美
土居暢子　中島谷悦子　中野龍子　中村京子
難波美乃　西村與里子　新田幹子　沼田淨子
直場徳宥　橋村恵子　畠田幹子　浜 洋一
林 敏夫　林 久利　廣岡敏雄　福島悦子
福田嘉寿憲　麓 孜子　古木昭子　星子鐵郎
細井昌子　細見芳江　本荘一子　前田元子
前田芳野　増山多惠子　待田敏彦　松谷富子
松田洋子　眞野祥子　三島啓子　宮坂暁子
望月 明　八十嶋敦子　山内一子　山崎 彰

11月利用者20人･87件
　ボランティア76人

✉ パソコンサポート ✉
（ボイスネット）

【11月実績】

訪問(1回2人)　窪田菜穂子 三輪彰宏
例会(1回7人)　石川昌宏　伊藤 勇
　斧田綱子 栗谷博子 福島智子 政所 章

❋ ご 寄 附 ❋

一般社団法人POOLE　舟橋雄一　眞野祥子
（敬称略をご容赦下さい）

新年のボランティア活動は６日(火)から

新年の仕事始めは１月５日(月)ですが、法人行事のため開館は午後２時まで。ボランティア活動とサービスは１月６日(火)から再開します。また、１月10日(土)はハッピーマンデーの振替休館日ですが、図書・情報係以外は開室します。

あ ゆ み

【12月】

13日　オープンデー(館内見学日)
16日　岩井和彦さんの夢を受け継ぐ会(堺市)
18日　近畿視情協ボランティア研修会(玉水)
24日　利用者サービス最終日
26日　仕事納め

予　定

【1月】

５日　仕事始め(15時から法人行事で休館)
６日　ボランティア活動・サービス開始
８日　ボランティア友の会世話人会
10日　振替休館日(図書貸出以外は開室)
17日　オープンデー(館内見学日､要予約)
24日　近点研設立40周年記念講演会(玉水)
29日　見学：日本盲人会連合点字図書館

編集後記　半同居する93歳の両親がこれまで健康を守られてきたため、留守は妻に任せて、好き勝手に仕事をしてきたのですが、昨年末、父が転んで肋骨を折り、母が熱を出して天手古舞に。最近、ご家族の介護に苦労しておられるボランティアの方が増えていますが、それがいかに大変であるかを初めて実感しました。それにしてもこれからが本番。覚悟しなければ。(竹)

ONE BOOK ONE LIFE（ワン ブック ワン ライフ） 2015年１月号
発　行　社会福祉法人日本ライトハウス
　　情報文化センター(館長 竹下 亘)
住　所　大阪市西区江戸堀1-13-2(〒550-0002)
　TEL 06-6441-0015　FAX 06-6441-0095
　E-mail info@iccb.jp
表紙絵　武部はつ子
発行日　2015年１月１日
定　価　1部100円　年間購読料1,000円